

# ハートがたくさんの村づくり

差別のない、人への思いやりを大切にする、明るい南阿蘇村をつくりましょう。

## 人権とはなんですか？

人権とは「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」であって、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものです。今回も、「言葉の暴力」についてお伝えします。

### モラハラをする人の特徴チエック！

モラルハラスメントとはDV（ドメスティックバイオレンス）とは似て非なるもので、精神的な暴力・精神攻撃によって主従関係を作り出し、相手を支配する行為であり、肉体的な虐待（DV）とは異なり、目には見えにくく第三者からは非常にわかりにくい虐待・支配行為であります。

モラハラは、特別なものではありません。パワーハラスメントやセクシャルハラスメント、いじめなどと同様に日常的に行われています。

たちが悪いのは、モラハラをしている人は自覚がなく、無意識のうちにモラハラを行います。独占欲が強く、相手を思いやる心よりも自身の自尊心を満たすことを優先的に思う人がモラハラを起こしやすいのです。

### モラハラをする人の性格・特長

モラハラをする人は、自分に自信がなく、それを補うために攻撃的・支配的になることが多く、独占欲が強く、相手からの反発を恐れています。そのため、気が弱く流されやすい人や自分に自信がない女性を相手に選びます。

相手のことが好きと言ってア

ピールをしてきますが、実際は好きというよりも、好きなように出来るとか、逆らわないという点が気に入っているだけです。この時点で本心を見抜くことはとても難しく、わからないうちに付き合ってしまう。

外見や性格は良く、周囲からは優しく、人当たりのいい人と思われがちが多いようです。しかし、親しい人からは、わがまま、自己中心的、冷酷な面があると言われるなど、短所もあり何かしらのコンプレックスを抱えています。本当の自分はこのではない、もっと高い地位にいるはずと思ひ込み、それを刺激されると激昂したり、無視したり、途端に意地悪になる傾向にあります。

### モラハラをする人の本性

最初は少しずつ、しかし、やがて支配するためのモラハラ行為が出来ます。ミスをするとか「お前はダメだな、使えない」「そんなじゃ社会でやっていけないよ」など、執拗なまでに攻撃し、尊厳を貶めます。

一見正論に見える精神攻撃で、相手に「自分が悪いのかも」と思ひ込ませ、支配をしてきます。口が上手く、理論とイントネーション、気迫で相手に反論を許しません。

罪悪感を植え付け、相手から

反抗する気力をすべて奪ってしまいます。

また、イライラすることが多く、自分の思い通りにいかないと脅しのようなことをしてきます。しかし、ムチばかりではないところが、モラハラをする人のいやらしいところです。アメとムチを巧みにつかい、相手を依存させます。きつく叱った後は、突然、人が変わったように優しくなり、甘い言葉をささやいてきます。「お前のために想っているから」と言いながら、どんでん落としした相手を、あたかも救い上げるような行動をとり、錯覚を起こさせます。

恐ろしいのは、この一連の支配行動を無意識下に行っているという事です。これは自分にとっては普通のこと、おかし（悪い）のは相手であり、自分は絶対に正しいと思っているからです。彼らの意識を変えさせることはほぼ不可能と言っても過言ではありません。一部の特殊なケースだと思われがちですが、近年の教育の変化の影響からか、過保護になる家庭が多くなり、モラハラをする人は、確実に増加しています。モラルハラスメントは、知識がなければ、相手は酷く傷つくことになりません。決して他人事ではありません。村民みんな「ハートがたくさんの村」をつくりましょう。